

### 第 三 者 検 証 報 告 書

2001年5月25日

横河電機株式会社  
代表取締役社長 内田 勲 殿

株式会社中央サステナビリティ研究所  
(中央青山監査法人グループ)

取 締 役  
公認会計士

井上壽枝

公認会計士

寺田良二

#### 1. 検証の対象及び目的

当研究所は、横河電機株式会社（以下、同社）の責任のもとに作成された「YOKOGAWA グループ環境報告書 2001」（以下、同報告書）に関する検証を実施した。

この検証は、同報告書に記載された環境パフォーマンスおよびそれに関連する財務情報（以下、環境データ）に関する収集過程および集計方法を対象としており、これらについて、実施した手続の範囲内において、独立した立場で意見を表明することを目的とする。

#### 2. 実施した主要な手続

意見の根拠とした主な検証手続は、主要な環境データの収集過程および集計方法に関する担当者への質問、関連文書及び記録の閲覧、ならびに記載情報とその根拠資料との照合である。

往査の対象としたサイトは、同社本社工場および蘇州横河電表有限公司であり、往査されなかった他のサイトに関しては、同社本社工場において可能な範囲で関係者に質問し、関連文書および記録を閲覧、照合した。

なお、これらの手続は、会社の同意に基づきサンプリングの方法によって実施された。

#### 3. 意見

検証の過程から得られた情報を総合的に判断した結果、当研究所の意見は次のとおりである。

同報告書に記載された環境データに関する収集過程および集計方法は、実施した手続の範囲内において、会社所定の方法に従い合理的に運用されており、特に重要な問題は存在しない。

以 上

## Changes from Previous Environmental Reports

1. The scope of data has been expanded to include the data for 16 Group sites (including overseas sites) that have obtained ISO14001 certification.
2. The contents are changed in line with the “Environmental Reporting Guidelines (of the Environment Agency, now the Ministry of the Environment), 2000” – “Guideline for Preparation of Environmental Reporting” issued in February 2001.
3. As a trial, Yokogawa Group’s own method of calculating the environmental burden indicator, eco points (EP), is used in the environmental accounting and eco-balance assessment.